



今月の保育

みんなの心を一つに！

9月号 5歳児 たんぽぽぐみ

運動遊びに取り組む中で、否が応でも「負けて悔しい気持ち」や「思うようにならないもどかしさ」と向き合わなければならず、子どもにはストレス過多な一ヶ月だったことでしょう。

励ましたり、なだめたり、雷を落としたりしながら、子どもたちの気持ちが安定するように「好きな遊びを存分に楽しめる時間を大切に」と思っかかわってきました。ようやく下旬ころには、保育室の遊びの様子が落ち着いてきました。これは、子どもが自分の力を発揮できる手ごたえを感じ、一日が充実していたということではないかと思えます。

さて、4日は年長児にとっては、ひしのみ幼稚園・保育園での最後の運動会。出番も多く、わくわく半分ドキドキ半分、そして気合は十分です。あとは天候に恵まれればということなします。

今回は、運動会直前号として、目玉競技の説明に加えて、運動会までのあゆみをご紹介します。



上手に運んで！ホットケーキ

リレー



異年齢競技は、大皿の上にホットケーキをのせて運ぶリレー方式のゲームです。4チームで競います。優しく年下の友だちをリードできるでしょうか。心温まる場面にたくさん出会うことを期待しています。

9月初旬のリレーの後のことです。「先生。Aちゃんが泣いてる。どうしたのかな。」と、子どもたちは心配して知らせにきました。今では、悔し涙を流す友だちを励ます子はいても、その理由が分からない子はいません。リレーの勝敗でクラス全員が一喜一憂し、ひまわり組の友だちと一時的に険悪な雰囲気になることもあります。「先生！（ひまわり組の）Bちゃんが、もう私とは遊ばないんだって。何もしてないのにすごく怒ってる。」とCちゃん。「リレーに負けたから悔しいんだよ。今日だけ言わせてやろう。」という担任の返事に、「えっ！？」と、一瞬きょとんとしていましたが、（そういうことか）と納得したようで、給食の準備を始めました。ここ数日は、負けが込んでいるたんぽぽ組。バトンの受け渡しを集中的に練習していますが、いざ勝負となるとはやる気持ちが裏目に出て、うまくいきません。

さて、本番の勝負の行方は！？



わんぱく大冒険（応用徒歩）

始めにトラックを使って、ボール蹴り、ボール運び、平均台、ゴム跳びに挑戦します。友だちと二人で確実に課題をクリアしていく姿にご注目ください。その後、自分で決めた課題（跳び箱または鉄棒）に挑戦決めるときの条件の一つ出しました。「当日挑戦するものは、それまでに必ず成功したことがあるものでなくてはいけない」というものです。ぶっつけ本番はダメですから、子どもたちは、きっと、ぎりぎりまで繰り返し練習をするのではないかと思います。

本番は1チャンスしかありません。「跳び箱6段を跳べたことが2回あるけど、失敗することの方が多から5段にしようかな」というふう迷っている子も少なくありません。「どうしたらいい？」と、聞かれることがありますが、「大丈夫。どちらを選んでも、たくさん応援してもらえるよ」と答えています。年長児は、「高い目標に挑戦する方がカッコいい！」大人にそう期待されていると思っているようです。運動会は、子どもにとって、晴れがましい場であってほしいと思えますが、決してその日がゴールではありません。与えられた目標ではなく、自分の決めた目標に向かって努力し、ぜひ達成感を味わってほしいと願っています。